

## 太陽と愛情をたっぷり浴びた洋梨とあんず♪



つぶちゃん、私、手作りジャムを作りたくて変わった材料を探していたら、三郷市内で洋梨とあんずを栽培している所を見つけちゃった！

訪れたのは、戸ヶ崎香取神社のすぐ近く、県道67号線沿いにある「恵果樹畠」（めぐみかじゅうばたけ）さん。青空の下、木々が陽の光をキラキラ受けながら枝葉を広げていたよ。

大通りのそばなのが信じられないほど、果樹畠の中は穏やかで、風が木々を抜ける音や鳥のさえずりが響いていて、気持ちいい！



この広々した農園には、あんずの木と洋梨の木およそ100本が植えられていて、オーナーの加賀谷恵子さんが、なんと一人で栽培から出荷まで行っているの。

東北出身のご主人が幼い頃によく食べていたという、洋梨やあんずを三郷でも作れたら、と18年前にご実家の農地に苗木を植えたのがその始まり。

「最初の2、3年は木を大きくすることが課題で、育てるのに一生懸命。苗木がスクスク成長するのは、子育てのようで楽しかったんですよ。良い木、良い実を作るための栽培方法や、防除法などは、県の指導員の方や、長野・山形の農家の方々に学びました。本当にたくさんの人たちのお陰で、ここまで育てることができました。」と語る恵子さんの目はとっても優しいね♪



三郷市戸ヶ崎 2283

048-955-7184 / 090-1808-8823 (携帯)

不定休 ※収穫時期により変わります

販売時期：あんず（6月）、洋梨（9～10月）

※果樹畠（直売所）に来る際は、事前にご連絡ください。

バートレットやラ・フランス、マルゲリット・マリーラなど甘さや香りの違う品種が揃う洋梨と、生食でもジャム・お酒にしても美味しいあんず。

そうやって、手をかけて育てられた果物はどちらも人気！

さいたま市内の中学校から、調理実習のジャム作り用にあんずの注文が入るなど、評判を聞いて遠方から買いに来る方も多いんだとか。



「剪定の際は、枝ぶりを見て、根から吸い上げる養分・水分の流れを断ち切らないように意識しています。木にも性格がありますからね。」と話す恵子さんのお気に入りは、脚立の上から見る果樹畠の景色なんだって。

木々に「随分と立派になったねえ。いつもありがとうございます。」と話しかけながら作業する恵子さんの姿は愛情が溢れているね、つぶちゃん。



太陽と恵子さんにたっぷり可愛がられた「恵果樹畠」の果物は、恵果樹畠での直売のほか、「三郷市とれたて野菜直売所べじ太くん」でも購入できるよ。

洋梨は夏から秋が旬！ぜひ、みんなも味わってみてね♪